

団体名 特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

所在地 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル7階

設立 1979年 11月 Email info@aarjapan.gr.jp

HP <https://aarjapan.gr.jp>



団体概要

Mission: 一人ひとり多様な人間が、各々の個性と人間としての尊厳を保ちつつ共生できる、持続可能な社会をめざします。

Vision: 紛争・自然災害・貧困などにより困難な状況に置かれている人々に必要な支援を届け、明日の社会が今日よりも豊かで希望の持てるものになるようにします。



主な取り組み・課題

<取り組み>

- ・ 難民支援
- ・ 障がい者支援
- ・ 災害支援
- ・ 地雷対策支援

<課題>

資金と資源の不足

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



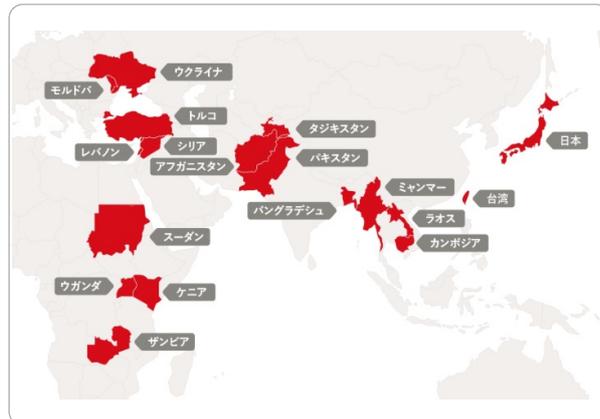
3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



主な活動地域



これまでの連携実績

1. 共創関係型(インテグレーション型)

連携先: エーザイ株式会社

分野: 感染症対策

対象者: スーダン国民

強み: スーダン国内のネットワーク

成果: 現地の人々の行動変容

- ・ マイセトーマの啓発
- ・ 治療の提供
- ・ 医療関係者への研修

▶ 詳細は [こちら](#)



2. 共創関係型(インテグレーション型)

連携先: 薬樹株式会社

分野: 災害支援

対象者: 日本の被災者

強み: 被災者ニーズの把握と炊き出しの実行能力

成果: 避難生活環境の改善

糖尿病や高血圧の方など食事への配慮が特に必要な方に提供する炊き出しメニューの開発

▶ 詳細は [こちら](#)



Shared Vision

連携によって実現したいビジョン

「住環境」は単なる生活インフラではなく、人の尊厳と社会の再生を支える基盤です。住む場所の安全性・安定性は、命を守ることに直結するとともに、心理的側面にも深く関わります。安定した「居場所」があることは、人が将来を考え、希望を持つ前提条件であり、その後の生活再建や自立の可能性を大きく左右します。安全で尊厳ある住環境を整えることは、人命を守り、依存を減らし、社会全体のレジリエンスを高める最も効果的なアプローチの一つです。国籍やその人の状態を問わず、住む場所に困っている人々が減少する仕組みを創造したい。

私たちができること

- ・ 想定する受益者との接点を直接／間接的に持つ。
- ・ 支援者間のネットワークがある。
- ・ 難民や被災者へ支援するにあたっての適切な対応。

サポートして欲しいこと

- ・ 住環境提供者と支援者の仲介
- ・ 住環境の提供に関連する法律や制度、専門知識の手助け。
- ・ プロジェクト全体のデザイン～実務の仕組みづくりまで

ビジョン実現のためにチャレンジしたいこと

受益者は全国に少数ずつちらばっていると思うので、小さくまとめながら様々な場所で展開できるようにする。